

みんなの青春を応援します！

大成高校に赴任して約半月が過ぎました。コロナ禍も4年目となり、感染防止の行動が定着する中、生徒の高校生活充実への支援として、私にできることがないか考えました。思い起こすと、今から40年前、私が高校生だった時です。父や母のおかげで高校生になれたことを受け止めつつも、思春期を迎えると次第に口数が減っていきます。たまに会話となっても、自分の思いが伝わっていないと感じれば「いつまでも子供じゃない」と反抗的な態度をとってみたり、お小遣いやお年玉をもらいたい時は、「まだまだ子供です」と甘えてみたりするなど、自分の感情が大人になることと子供でいられることの不思議な感情の入り混じった日々を過ごしていたのを思い出します。今思うと、成熟した肉体の中にある心の未熟さを自覚する時期が青春ではないかなあと、今さらながら感じております。少々言い訳のように聞こえますが・・・このように、自由気ままな青春時代を過ごした私でさえも、人から褒めてくれることはとてもうれしいことでした。親が子供を褒める時は、決まってテストでいい点数を取った時です。または、保護者会や家庭訪問（懐かしい言葉）等で先生から親が褒められた時などは、夕飯に大好きなハンバーグが突然出てくるなど、近所の年配の方々や同級生の親から褒められることと違って、先生から褒められることは家族の荣誉でありました。

そこで、校長として、私は、本校で学ぶ生徒と、真摯に生徒と向き合っている先生のいる、この学習空間に漂う空気を「学びの匂い」として、生徒も先生も褒め、讃えることで、生徒を応援したり鼓舞したりできるように紹介していくこととします。

◆4月10日（月）

部活動の勧誘が始まりました。体育館で実施した部活動紹介では、躍動する生徒のエネルギーが随所に見られ、仲間と切磋琢磨する楽しさや厳しさを見事に伝えていました。また、その裏方では、生徒の主体性を必死に引き出そうと努力する生徒会顧問や各部活動顧問の先生方の姿がありました。本校は、部活動加入率が90%を超える放課後ライフをととても大切にしている学校です。皆さんも、部活動で自分磨きに挑戦してみてはいかがでしょうか？ 放課後、中庭では、新入部員獲得に向けて必死に声を出す上級生の姿があり、（写真）まさに学びの匂いのするエネルギーを感じました。スポーツや芸術・文化などの楽しさは、皆さんの声でしっかりと伝えられたに違いありません。 令和5年4月

